

エンジンオイル量の確認方法

所要時間：5分

必要な道具：ウエス、（マイナスドライバー）

エンジンオイルは少しずつ消耗していき、規定量より不足するとエンジンの焼き付きや不調の原因となります。また、エンジンオイル量が過剰でもエンジン不調の原因となります。作業前にエンジンオイル量・オイルの汚れ具合の確認を行うようお願いいたします。

※作業後にエンジンオイル量の確認を行うと、オイル量を正しく確認できない場合があります。

① 機体を平らなところに置き、エンジンオイルの給油栓をあける。

カワサキ



ホンダ



ブリグス



※プラスチック製のエンジンボンネットが付いている機種は、エンジンボンネットを手で開けて作業をしてください。鉄製のエンジンボンネットはマイナスドライバーなどで、固定ピンをはずすことで開けることができます。詳細は取扱説明書をご参照ください。

② オイルゲージを引き出して、ウエスでふき取った後に再び差し込んでオイル量を確認する



※エンジンメーカーによってオイル量を確認する際の、オイルゲージの差し込み方が異なる。

ブリグス：注油栓を締めこんで確認する

カワサキ、ホンダ：締めこまず置くだけ



※上限のラインにオイル量を合わせてください

オイル量が不足している場合は、エンジンオイルを継ぎ足して適切なオイル量になるように調節をお願いいたします。また、オイルの色が黒く汚れている場合は、オイルの交換をお願いいたします。

オイル交換目安：初回 50時間 2回目以降 100時間毎

※設備・道具がない場合はお近くの販売店にご依頼ください。